

第41回日本アルコール関連問題学会

2019年10月4日(金) 第3会場(中ホールB)

13:05~15:05 シンポジウム2 PS2

大学生に対するアルコール教育の実態と今後の教育のあり方について考える

座長:吉本 尚(筑波大学医学医療系 地域総合診療医学)

PS2-1 米国における大学生の飲酒問題とその介入

村瀬華子

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター/依存症対策全国センター

PS2-2 日本の医学部における飲酒の健康影響に関する教育の現状

梅澤光政

獨協医科大学医学部

PS2-3 大学生のビンジドリンキングを含めた飲酒の実態と介入の有用性について

川井田恭子

筑波大学医学医療系社会精神保健学

PS2-4 大学生の過剰飲酒と外傷のリスクおよび自己認識

吉本 尚¹⁾、川井田恭子²⁾

1)筑波大学医学医療系 地域総合診療医学/筑波大学附属病院 総合診療科

2)筑波大学医学医療系社会精神保健学

指定発言

森田展彰

筑波大学医学医療系 社会精神保健学

15:15~17:15 分科会1 PSM

回復のプロセスに寄り添うリハビリテーション
～「気づき」や「つながり」を取り戻す豊かな場づくりを考える

座長:池田 望(札幌医科大学保健医療学部作業療法学科)
山下聖子(北仁会旭山病院リハビリテーション部)

PSM1-1 気づきとつながりを促進する作業療法での関わりと多職種での場作り

宮田友樹
医療法人北仁会旭山病院リハビリテーション部

PSM1-2 岡山県精神科医療センターにおける「気づき」や「つながり」を取り戻す実践

佐藤嘉孝
地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

PSM1-3 当センターにおける『Real生活プログラム』の取り組み

村田雄一
国立精神・神経医療研究センター病院

指定発言 松本俊彦
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

2019年10月4日(金) 第5会場(204会議室)**13:05~15:05 シンポジウム3 PS3**

産業医のための地域アルコール連携入門—内科と精神科の連携—

座長:白石光一(東海大学)

白坂知信(石橋病院)

PS3-1 アルコール関連疾患サポートネットワークの構築

白石光一

東海大学医学部付属東京病院消化器内科

PS3-2 アルコール依存症治療の新たな方向性と地域連携

白坂知信

石橋病院

PS3-3 アルコール依存症と1内科医

片山英昭

かたやま内科消化器科

15:15~17:15 分科会2 PSM

アディクション問題に対するソーシャルワーク

座長:大嶋栄子(特定非営利活動法人リカバリー)

話題提供者:田中和彦(日本福祉大学)

2019年10月4日(金) 第6会場(206会議室)

13:05~15:05 リレートーク PRT

リレートークin札幌「自助グループとセクシャルハラスメント問題を語ろう」
～支援者と自助グループの連携のために～

座長:奥田由子(守山こころのクリニック/大津市保健所)

PRT-1 支援者と自助グループの連携のために

奥田由子

守山こころのクリニック/大津市保健所

PRT-2 “個人的なこと”を越えて

大嶋栄子

特定非営利活動法人リカバリー

PRT-3 自助グループメンバー

PRT-4 自助グループメンバー

PRT-5 アディクションの回復者コミュニティの中で、トランス女性の私が
セクシュアル・ハラスメントについてたどって来た揺れる認識のプロセス

倉田めば

Freedom

2019年10月4日(金) 第7会場(207会議室)

13:05~15:05 シンポジウム4 PS4

依存症の再発予防プログラム～さまざまなグループアプローチから～

座長: 檜原広大(心理相談室セコイア)
堀 達(医療法人社団碧水会 長谷川病院)

PS4-1

肥田明日香
アパリククリニック

PS4-2

依存症の再発予防プログラム
～マインドフルネス&リガバリーグループの実践～
檜原広大
心理相談室セコイア

PS4-3

アルコール依存症治療病棟で開催している
『こどもプログラム・思春期プログラム』の紹介
田淵賀裕^{1,2)}、望月美智子¹⁾、葦澤博一¹⁾、垣渕洋一¹⁾
1)成増厚生病院:東京アルコール医療総合センター
2)東日本少年矯正医療・教育センター

15:30~17:30 ケアカフェ PCC

カフェ®JSARP30
～いろんな人がごちゃまぜになって赤裸々に語ろう! 若者の飲酒のこと～

座長: 野村裕美(同志社大学)
左右田哲(北里大学病院トータルサポートセンター)

PCC-1

ケア・カフェ®JSARP30
～いろんな人がごちゃまぜになって赤裸々に語ろう! 若者の飲酒のこと～
野村裕美¹⁾、左右田哲²⁾、稗田里香³⁾、阿部泰之⁴⁾、中村正彦⁵⁾
1)同志社大学 2)北里大学病院トータルサポートセンター
3)東海大学健康科学部 4)旭川医科大学病院緩和ケア科
5)北星学園大学社会福祉学部

17:40~18:50 夜間集会(オフ会) PNA

「札幌で再会! 1年に1回の秋の七夕」

座長: 吉本 尚(筑波大学)
稗田里香(東海大学健康科学部)

2019年10月5日(土) 第2会場(中ホールA)

13:30~14:20 教育講演4 PEL4

座長:奥田 宏(ひろメンタルクリニック/金沢工業大学)

PEL4 クレプトマニア(窃盗症)の治療可能性と回復可能性
—常習窃盗者, 2,000人の治療経験から—

竹村道夫

赤城高原ホスピタル

14:30~15:20 教育講演5 PEL5

ギャンブル障害の治療経験からみた嗜癖問題の課題

座長:米山奈奈子(秋田大学大学院医学系研究科)

PEL5 ギャンブル障害の治療経験からみた嗜癖問題の課題

田辺 等

北星学園大学

指定発言 岡崎直人

日本福祉教育専門学校

2019年10月5日(土) 第3会場(中ホールB)

10:10～11:00 教育講演2 PEL2

座長: 芦澤 健(医療法人資生会 千歳病院)

PEL2 内観療法とアルコール依存症からの回復

塚崎 稔

医療法人清潮会三和中央病院

13:30～15:30 シンポジウム7 PS7

今昔物語 ～Road41 変わるもの、変わらないもの～

座長: 佐々木裕司(医療法人北仁会 石橋病院)

片山 沙織(医療法人成精会 刈谷病院)

PS7-1 哲学っぽく伝えたい今日

森 和浩

医療法人東北会 東北会病院

PS7-2 古き良き時代から新しい物への取り組み

川上春美

医療法人優なぎ会 雁の巣病院

PS7-3 アルコール看護～変わるもの 変わらないもの～

菫澤博一

成増厚生病院 東京アルコール医療総合センター

PS7-4 「アルコール医療、変わったもの、変わってはいけないもの」
～狭義でのアルコール医療の変遷を振り返る～

小松尚司

医療法人 稲門会 いわくら病院

指定発言 世良守行

ジャパンEAPシステムズ

15:40~17:40 シンポジウム10 PS10**底つきは役にたたず、捨て去るべき概念なのか**

座長:大河原昌夫(公益財団法人住吉偕成会 住吉病院)

PS10-1 ハームリダクションは底つき理論を終焉させるのか

松本俊彦

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

PS10-2 底つきは役にたたず、捨てるべき概念なのか

芦澤 健

医療法人資生会 千歳病院

PS10-3 底つきは役にたたず、捨て去るべき概念なのか

伊藤 聡

全日本断酒連盟

PS10-4 底つきは棄て去るべき考えなのか

大河原昌夫

公益財団法人住吉偕成会 住吉病院

2019年10月5日(土) 第4会場(小ホール)

10:10~12:10 シンポジウム6 PS6

依存症からの回復と地域の受け皿

座長:吉岡幸子(帝京科学大学医療科学部看護学科)

PS6-1 保健所における薬物依存症者を対象とした集団支援の実際

島 睦美

北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室(北見保健所)

PS6-2 依存症者と家族、支援者を支え、地域資源を活性化させる
「依存症を考えるつどい」の取り組み

平 法子

北海道渡島総合振興局保健環境部保健行政室 健康推進課健康支援係

PS6-3 道立精神保健福祉センターにおける依存症の相談支援と北海道の課題

舘巖晶子

北海道立精神保健福祉センター 相談研究部 指導主任保健師

15:40～17:40 シンポジウム11 PS11**アルコール・薬物依存症患者に対するスティグマを克服する**

座長:成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)
奥平富貴子(東北会病院)

PS11-1 依存症患者に対するスティグマにどう向き合えばいいのか
成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター

PS11-2 そのスティグマは乗り越えるものか、抱き留めるものか
～ヤク中になること、ヤク中でなくなること～

市川岳仁

三重ダルク

PS11-3 スティグマと闘わない、ゆるやかな仲間づくりの実践

西念奈津江

医療法人社団岡部診療所

PS11-4 自己責任という名のスティグマを克服するために
～依存症の発症と回復過程を検証する～

小林桜児

神奈川県立精神医療センター依存症診療科

2019年10月5日(土) 第5会場(204会議室)

15:40~17:40 シンポジウム12 PS12

実践 アディクションアプローチ ～心理職に何ができるか～

座長:三原聡子(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

- PS12-1** 外来医療におけるアディクションアプローチ
ー心理職に何ができるかー
河西有奈
白峰クリニック
- PS12-2** 生存を支えるアウトリーチ
奥田由子
守山こころのクリニック・大津市保健所
- PS12-3** インターネット依存／ゲーム障害の心理臨床
三原聡子
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
- PS12-4** ギャンブル依存症治療における心理士の役割
岡田 瞳
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
- PS12-5** 病院におけるアルコール依存症の心理臨床
伊藤 満
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
- PS12-6** 開業心理相談機関におけるアディクション支援
高橋郁絵
原宿カウンセリングセンター

2019年10月5日(土) 第7会場(207会議室)

10:00~15:00 ワークショップ PWS

アディクション・依存症について知る

座長:河田祐輔(医療法人 資生会 千歳病院)

PWS アディクション・依存症について知る

河田祐輔

医療法人 資生会 千歳病院

PWS1 依存症は何を病み、どのように回復するのか
～アルコール依存症から学ぶ依存症の概念・回復・援助～

山家研司

医療法人 北仁会 旭山病院

PWS2 刑事施設における依存症へのグループ介入について

中村英司

札幌刑務所教育部

PWS3 薬物使用者の家族に対する支援

辻 由衣

北海道医療大学大学院/日本学術振興会

2019年10月6日(日) 第1会場(特別会議場)

9:00~10:00 特別講演3 PSL3

座長: 芦澤 健(医療法人資生会 千歳病院)

PSL3

くらし、人、そして苦悩、癒しのサイコエコロジー
—ルワンダ、ツチ族とフツ族の和解—

南 昌廣

カナダ・サイモンフレーザー大学

2019年10月6日(日) 第2会場(中ホールA)

14:00~16:00 シンポジウム16 PS16

基本法シンポジウム:動き出した基本法
～潜在するアルコール健康障害にどうアプローチするか?

座長:廣中直行(帝京大学文学部心理学科)
坂本 隆(藤代健生病院)

PS16-1 ISBRA2018「基本法」シンポジウム総括:海外から学んだこと

廣中直行
帝京大学文学部心理学科

PS16-2 北海道モデルにおける SBIRTS の実践例
早期介入を目的とした自助グループとの協働と課題

白坂知彦、常田深雪、相澤加奈、木村永一
手稲溪仁会病院 精神保健科

PS16-3 消化器内科医からみた関連学会との推進計画・SBIRTS の実践に向けて

中尾春壽
愛知医科大学

PS16-4 全国拠点機関の役割

岩原千絵、真栄里仁、樋口 進
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

PS16-5 北海道のアルコール健康障害対策推進計画を巡って

山家研司
旭山病院

PS16-6 地域連携システムの構築に向けて

猪野亜朗
かすみがうらクリニック

PS16-7 看護教育の立場から:市民のアルコール問題へのリテラシー向上を目指して

松下年子
横浜市立大学医学研究科看護学専攻 医学部看護学科

2019年10月6日(日) 第3会場(中ホールB)

10:10~12:10 分科会3 PSM

セクシャルマイノリティとアディクション：二重のスティグマを生きる

座長：大嶋栄子(特定非営利活動法人リカバリー)

PSM3-1 セクシャルマイノリティとアディクション—二重のスティグマへの援助

西村康平

神奈川県立精神医療センター

PSM3-2 私が分断されるとそれぞれのスティグマが強化される

倉田めば

大阪ダルク

2019年10月6日(日) 第4会場(小ホール)

10:10~12:10 シンポジウム14 PS14

座長: 瀧澤紫織(江別すずらん病院)
島上大樹(医療法人北仁会石橋病院)

PS14-1 摂食障害の治療におけるソーシャル・ファームの役割を「なのはなファミリー」を通して考える

小野瀬健人¹⁾、小野瀬ゆかり¹⁾、瀧澤紫織²⁾

1) なのはなファミリー

2) 江別すずらん病院

PS14-2 嗜癖行動障害としてみた摂食障害の治療導入について

島上大樹

医療法人北仁会石橋病院

14:00~16:00 シンポジウム17 PS17

繰り返す性的逸脱行動及び盗癖への多職種チームでのアプローチ

座長: 長谷川直実(医療法人社団ほっとステーション
大通公園メンタルクリニック)

PS17-1 ほっとステーションにおける盗癖・性的逸脱行為への取り組み

長谷川直実

医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック

PS17-2 盗癖ミーティング

工藤綾乃

医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック

PS17-3 発達・知的障害を抱え、性的逸脱行動を繰り返す人のための心理教育プログラム

佐々木渉

医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック